

桑専用肥効調節型肥料による年1回施肥法

蚕業試験場

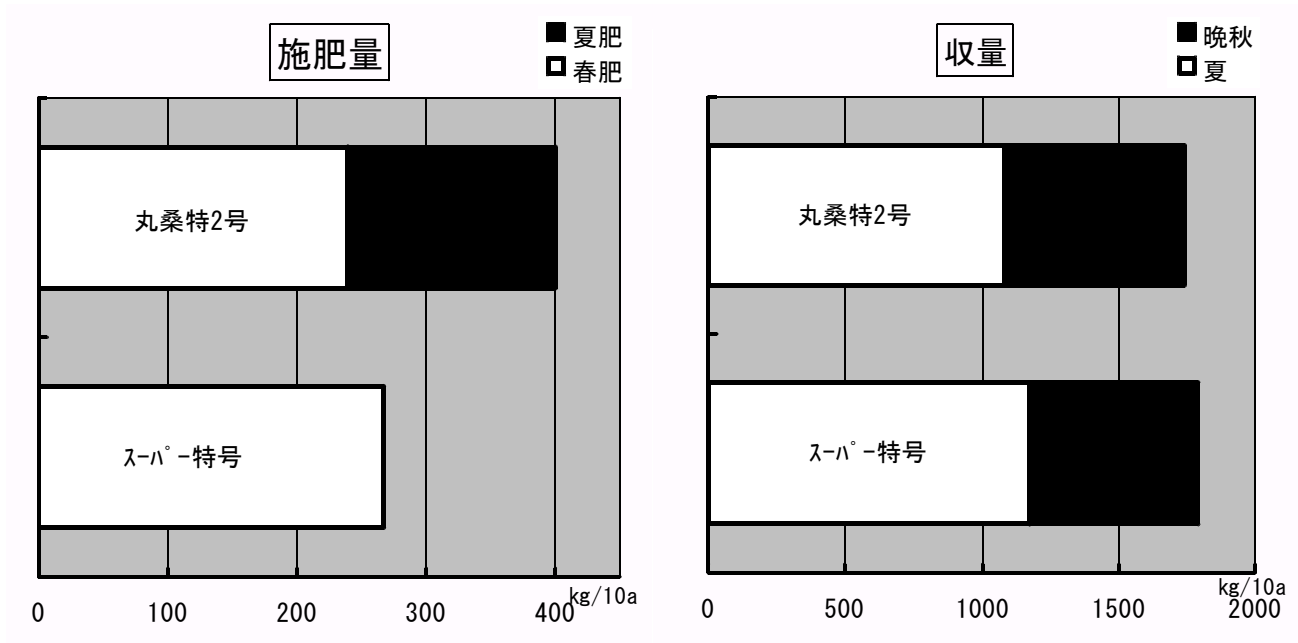
1 取り上げた理由

多回育養蚕においては、従来の施肥体系では夏肥散布時期は蚕飼育と重なり、作業が競合してしまう。そこで競合回避のために、肥効の発現を調節した肥料を使用した年1回施肥法を検討したところ、成果が得られたので参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 肥料の名称は丸桑スーパー特号。成形複合肥料に被覆肥料を混合したものである。
- 2) 春に1年分を散布し、夏肥の必要はない。
- 3) 散布量は対照肥料に比べ33%少なく、収量は対照肥料並に期待できる。
- 4) 費用は対照肥料とほぼ同等である。

年間施肥量と収量の比較



※春切，試験期間の平均値

3 利活用の留意点

- 1) 施用時期は4月上旬を目安とする。施肥は畦間全面に行い、ロータリー等で土壌と混和する。
- 2) 収量は、夏蚕期は対照肥料より多く、晩秋蚕期はやや少ない傾向なので、この点を考慮して飼育計画を立てる。

4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 新高能率桑園管理技術の確立 昭和63年～平成16年
- 2) 参考データ

表－1 保証成分量

丸桑特2号		スーパー特号	
アンモニア態窒素	10.0%	全窒素	15.0%
可溶性りん酸	4.0	うちアンモニア態窒素	10.5
水溶性加里	4.0	硝酸態窒素	2.0
		可溶性りん酸	7.0
		うち水溶性りん酸	2.0
		水溶性加里	8.0

表－2 散布時期と散布量 (単位：kg/10a)

試験区	春肥	夏肥	計
丸桑特2号	240	160	400
スーパー特号	267	—	267

表－3 年次別収量 (葉量)

(単位：kg/10a)

試験区	蚕期	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	計
		(H4)	(H5)	(H6)	(H7)	(H8)	(H9)	(H10)	
丸桑特2号	夏	1,278	1,388	898	910	825	1,094	1,188	7,581
	晩秋	906	263	901	433	869	713	512	4,597
	計	2,184	1,651	1,799	1,343	1,694	1,807	1,700	12,178
	(指数)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
スーパー特号	夏	1,277	1,547	1,253	1,020	913	1,089	1,135	8,234
	晩秋	791	276	875	514	843	625	393	4,317
	計	2,068	1,823	2,128	1,534	1,756	1,714	1,528	12,551
	(指数)	(95)	(110)	(118)	(114)	(104)	(95)	(90)	(103)

品種：しんけんもち 造成年：昭和62年 造成方法等：種茎直播，播幅0.2m，畦間1.0m
 収穫法：春切 夏蚕期基部30cm残し伐採，晩秋蚕期再発枝2葉残し伐採

表－4 費用の試算

	肥料代		労賃		合計 (円/10a)
	施用量 (kg/10a)	金額 (円/10a)	時間 (分/10a)	金額 (円/10a)	
丸桑特2号	400	28,400	220	6,882	35,282
スーパー特号	267	31,372	147	4,599	35,971

肥料単価：平成9年実際購入価格

労賃単価：平成9年繭生産費（農林水産省統計情報部）算出基礎による

3) 発表論文等

宮城県蚕業試験場蚕桑要報第23号掲載予定

第 表 枝条数 (単位：本／10 a)

試験区	蚕期	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
	夏	27,739	29,988	19,159	18,493	16,333	18,333	26,417
丸桑特2号	晩秋	31,564	12,495	28,905	29,905	22,500	26,000	22,000
	夏	29,988	24,990	21,491	16,244	18,000	17,750	22,333
スーパ ^o -特号	晩秋	29,572	21,911	26,406	25,906	25,833	24,667	25,250

第 表 平均枝条長 (単位：cm)

試験区	蚕期	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
	夏	82	73	72	75	64	72	82
丸桑特2号	晩秋	56	32	58	38	78	55	48
	夏	87	81	83	75	69	83	92
スーパ ^o -特号	晩秋	44	25	69	49	67	60	39